

受講番号					
------	--	--	--	--	--

令和 7 年度

登録道路等法面保護基幹技能者認定試験

<注意事項>

1. 開始の合図があるまで開かないでください。
2. 試験時間は 14 : 30～16:10 の 100 分です。
3. 試験問題は、択一式と記述式に分かれていますので、時間配分に留意してください。
4. 開始の合図があったら、問題用紙および解答用紙 2 に受講番号を記入してください。また、別紙の解答用紙-1（マークシート）に氏名と受講番号を記入し、受講番号欄の下の該当する数字（受講番号）も塗りつぶしてください。
5. 問題は、択一式問題-1～25 の 25 問、記述式問題 1 問となっております。
6. 択一式問題には、「適切なものを選びなさい」と「適切でないものを選びなさい」の問いかけがありますので、よく注意し正答と思われるものを一つ解答してください。
7. 問題-1～25 の解答は、別紙の解答用紙-1（マークシート）に記入してください。マークシートは鉛筆で明確に塗りつぶしてください。これは機械で読み取りますので、汚したり折り曲げたりしないよう注意してください。
8. 記述式問題の解答は、解答用紙-2 に横書きで記入してください。
9. 問題冊子の末尾にメモ用紙があります。試案の作成、試算などに使用してください。メモ用紙は切り離さずに、問題冊子と一緒に提出してください。
10. 氏名、受講番号の記入漏れがないか確認してください。

【※択一式問題と記述式問題は、合格するためには、それぞれに一定水準の得点が必要です。】

令和 7 年 6 月 26 日 福岡会場



一般社団法人 全国特定法面保護協会

問題 1. 登録基幹技能者に求められる能力の記述で**適切なもの**を選びなさい。

- (1) 登録基幹技能者は、その役割を遂行するためには、専門的な作業能力のみならず、企画・マネジメント・教育指導など幅広い分野における多彩な能力が求められる。
- (2) 十分な経験と熟練した作業能力をもっているため、出来上がりの点検や工事の是正ができ、一般技能者を指揮・監督する必要はない。
- (3) 現場に適した技術面からの施工方法、作業手順、工夫の提案等は、責任問題となることから元請け技術者に任せる方が良い。
- (4) 未熟な作業員から一般の作業員へレベルアップさせる O J T に関しては、専門の技術者が実施するため、登録基幹技能者は現場のまとめや効率的な作業を実施する管理能力を有していれば良い。

問題 2. 登録基幹技能者に必要な資質の記述で**適切なもの**を選びなさい。

- (1) リーダーとして、約束を守ることによって信頼が得られる。
- (2) 実行する前に、理論や理屈で部下を説得する。
- (3) 仕事に信念を持って実施するが、現場での決断は技術者に任せる。
- (4) 安全に工事を進めるため厳しい指導が必要となり、温かい配慮は二の次となる。

問題 3. O J T 指導教育の基本知識に関する記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

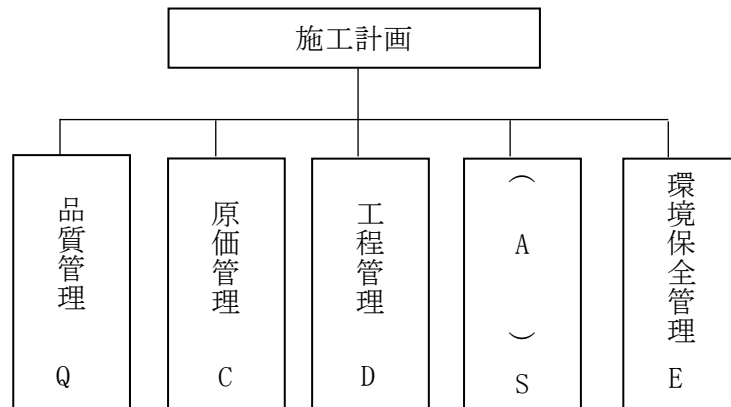
- (1) 信頼とコミュニケーション
- (2) 適性に合わせた指導育成
- (3) 1年に1度の研修実施
- (4) 幅広い職務能力の育成

問題 4. 適用除外申請を行わない場合に、社会保険の加入義務に関する次の表の（ A ）と（ B ）に当てはまる語句として、**適切な組み合わせ**を選びなさい。

事業所の形態	常用労働者の数	就労形態	健康保険	年金保険	雇用保険
法人	1 人～	常用労働者	協会けんぽ	厚生年金	加入
	－	役員等	協会けんぽ	厚生年金	適用除外
個人事業主	5 人～	常用労働者	（ A ）	（ B ）	加入
	1～4 人	常用労働者	国民健康保険	国民年金	加入
	－	一人親方	国民健康保険	国民年金	適用除外

- (1) A：国民健康保険 B：国民年金
- (2) A：協会けんぽ B：国民年金
- (3) A：協会けんぽ B：厚生年金
- (4) A：国民健康保険 B：国民年金

問題 5. 施工計画に関する次の図の（ A ）に当てはまる語句として、適切なものを選びなさい。

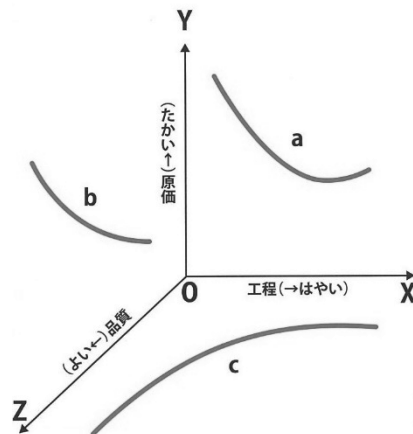


- (1) 安全管理
- (2) 写真管理
- (3) 施工管理
- (4) 生産管理

問題 6. 仮設備計画の直接仮設工事として適切なでないものを選びなさい。

- (1) 工事用道路
- (2) 支保工足場
- (3) 現場事務所
- (4) 防護設備、安全施設

問題 7. 工程・原価・品質の相互関連性に関する記述のうち適切なものを選びなさい。



- (1) 工程と原価の関係は、施工速度を上げると単位時間当たりの出来高が増え原価は安くなるが、さらに速度を上げると突貫作業となり、逆に原価は高くなる。
- (2) 工程と原価の関係は、施工速度を上げれば上げるほど単位時間当たりの出来高が増え原価は安くなる。
- (3) 原価と品質の関係は、一般的に品質を良くすると原価は高くなるが、品質を下げると原価は上がる。
- (4) 原価と品質の関係は、一般的に品質を良くすると原価は安くなるが、品質を下げると原価は下がる。

問題 8. 次の文章の（ A ）と（ B ）に当てはまる語句として、**適切なもの**を選びなさい。

「建設副産物」とは、建設工事に伴い副次的に得られた（ A ）であり、再生資源及び（ B ）を含む。

- (1) A：すべての物品 B：建設発生土
- (2) A：すべての物品 B：廃棄物
- (3) A：そのまま原材料となるもの B：建設発生土
- (4) A：そのまま原材料となるもの B：コンクリート塊

問題 9. 工程管理において、登録基幹技能者として PDCA サイクルを用いて管理する際の記述のうち**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) Plan ⇒ 計画を立てる。
- (2) Do ⇒ 計画に基づき実施する。
- (3) Check ⇒ 報告書を作成する。
- (4) Action ⇒ 適切な処理を施す。

問題 10. 急傾斜地での工事が多いのり面工事において、登録基幹技能者として作業計画、工程計画をする際の事前調査事項として**適切なもの**を選びなさい。

- (1) 突貫工事となるような施工速度を極端に早め施工ができるかを検討する。
- (2) 現場周囲の地形踏査を行い、ロープ設置箇所、昇降設備・作業通路、施工箇所と下方状況などを確認する。
- (3) 地層、表土、浮石などの状況は、どの現場でも一様であり工程への影響を考慮しない。
- (4) 資機材搬入道路の決定においては、近接道路、交通量の状況を確認する必要はない。

問題 11. 登録基幹技能者として現場の円滑な工程管理を行う際の記述のうち**適切なもの**を選びなさい。

- (1) 作業内容を明確に記載された当初の工程表で工程管理を行う。
- (2) 工程短縮を最優先事項として工程管理を行う。
- (3) メリットを理解した工程表で工程管理を行う。
- (4) 品質などの工程能力図の測定値を並び替えて工程管理を行う。

問題 12. 資機材管理計画に関して工事を円滑に運営するための対応として、**適切でないもの**を選びなさい。

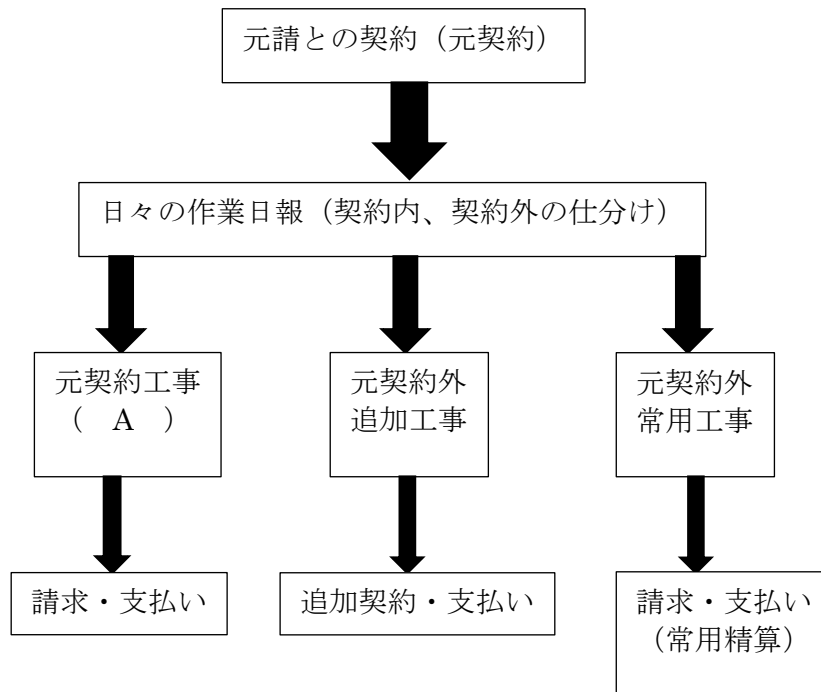
- (1) 規格・仕様に適合した品質の資材を適正な価格で発注する。
- (2) 運搬費を削減するため、使用する資材は全数を指定した場所へ搬入する。
- (3) 資材の形状等に合わせた保管管理を行う。
- (4) 資機材置場の適切な場所の選定と場内の整理整頓を行う。

問題 13. 原価管理計画に関する次の文の（ A ）に当てはまる語句として、**適切なもの**を選びなさい。

請負契約が決まると、（ A ）を作成する。見積書は発注者に提出することが目的であるが、（ A ）は、自らが施工するにあたり原価管理を行うために作成するものである。（ A ）は作業計画を詳細に詰めながら、お金を使う枠組みで作成する。なお、作業計画や施工方法が変われば、（ A ）も変化する。

- (1) 見積予算
- (2) 実行予算
- (3) 注文書
- (4) 作業標準書

問題 1 4. 予算実績管理に関する次の表の（ A ）に当てはまる語句として適切なものを選びなさい。



- (1) 出来高査定
- (2) 売買査定
- (3) 見積査定
- (4) 予算実績管理

問題 1 5. QC 7つ道具に関する次の記述の（ A ）に当てはまる語句として、適切なものを選びなさい。

特性要因図、チェックシート、層別、パレート図、管理図、（ A ）、散布図

- (1) ヒートマップ
- (2) ピボットテーブル
- (3) ダイアログボックス
- (4) ヒストグラム

問題 1 6. 品質の特性に関する次の記述のうち、適切でないものを選びなさい。

- (1) JIS 規格とは、産業標準化法に基づき制定される国家規格である。
- (2) ISO 規格とは、国際標準化機構によって策定された国際標準規格である。
- (3) ISO25010 は、ソフトウェア製品の品質を評価するための国際標準規格である。
- (4) JASS とは、産業標準化法に基づき制定される国家規格である。

問題 1 7. 統括安全衛生責任者が統括管理すべき記述のうち、適切でないものを選びなさい。

- (1) 作業間の連絡および調整
- (2) 作業方法の決定と作業員への直接指揮
- (3) 関係請負人が行う作業員の安全衛生教育に対する指導・援助
- (4) 工程計画、機械・設備等の配置計画の作成と使用に関する指導

問題 18. 墜落防止対策の基本に関する次の記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 高さが 2m から 3m の足場組立を行う場合、作業床を設置しなくてもよい。
- (2) 作業床の設置が困難な場合は、落下ネットの設置と墜落防止器具を使用する。
- (3) 作業床は、幅 40 cm 以上とし、かつ、床材のすき間は 3 cm 以下とする。
- (4) 手すりは床面から高さ 85 cm 以上で、中さんと必要に応じ幅木を設ける。

問題 19. リスクアセスメントに関する次の記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 作業を始める前に（計画段階で）、その作業に潜むリスク（危険な物、有害な物）を洗い出す。
- (2) 洗い出したリスクそれぞれはどの程度の頻度で発生するのか、どのくらいの怪我、病気になるかなどのリスクの大きさを予想（見積り）する。
- (3) 予想したリスクそれぞれについて小さなものから順に、許容できないリスクはすべて対策をたてる。
- (4) 作業前に対策を実施しながら、許容できないリスクを減らす。

問題 20. 切土のり面に木本型の群落の形成を目的とした設計を行う際の播種工および植栽工の留意事項として、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 播種工では、緑化目標が草地型（または草本型）の場合に比べて、草本植物の発生期待本数を多くするのがよい。
- (2) 播種工で常緑広葉樹主体の群落を造成する場合は、緩効性肥料を用いて肥沃な生育基盤とするのがよい。
- (3) 植栽工では、成木より苗木のほうが適応力に優れているため、苗木を用いるのがよい。
- (4) 初期の浸食が懸念される場合は、植栽工の単独施工は避け、草本植物の播種工を併用するのがよい。

問題 21. 吹付砕工を検討する際の留意点として、**適切なもの**を選びなさい。

- (1) 吹付モルタルの設計基準強度は、 15N/mm^2 を標準とする。
- (2) 地山の凍上により膨張して持ち上がる地質の場合は、砕内（中詰工）を密閉型のモルタル吹付工とする。
- (3) のり面の表層崩壊抑制や地山補強土工の支承構造物として使用する場合は、砕に作用する荷重モデルを設定し、砕断面を検討して決定する。
- (4) 砕断面の耐久性ひび割れの照査は、終局限界状態で行う。

問題 22. モルタル吹付工の品質管理における配合計画の留意点として**適切なもの**を選びなさい。

- (1) モルタル吹付工の設計基準強度は 18N/mm^2 以上を標準とする。
- (2) 細骨材の粗粒率は 2.5～3.1 の範囲を標準とする。
- (3) 吹付モルタルの単位セメント量は 420 kg/m^3 以上を標準とする。
- (4) 水セメント比（W/C）は 65% 以下を標準とする。

問題 23. 吹付砕工のモルタルの品質管理についての記述として**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 吹付モルタルの圧縮強度試験用供試体は、施工と同様のモルタルをモールドに詰めて作製する。
- (2) 吹付モルタルの圧縮強度試験用供試体は、気中養生を基本とする。
- (3) 普通ポルトランドセメントを用いた場合、材令 7 日で圧縮強度を判断する場合には材令 28 日強度の 70% 以上あることを確認する。
- (4) 早強ポルトランドセメントを用いた場合、材令 7 日で圧縮強度を判断する場合には材令 28 日強度の 95% 以上あることを確認する。

問題 2 4. のり面ロープ高所作業の定義に関する次の記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 高さ 3 メートル以上の作業床を設けることが困難なところで昇降器具を用いての作業。
- (2) 昇降器具により身体を保持しつつ行う作業。
- (3) 40° 未満の斜面における作業を除く。
- (4) 身体保持器具はバックサイドベルト、墜落制止用器具はフルハーネス型安全帯である。

問題 2 5. のり面ロープ高所作業における危険防止に関する次の記述のうち、**適切でないもの**を選びなさい。

- (1) 身体保持器具を取り付けたロープ以外にライフラインを設置する。
- (2) ロープや緊結具、身体保持器具、接続金具等は十分な強度を有するものを使用する。
- (3) メインロープとライフラインは堅固な同じ支持物に緊結する。
- (4) 突起物や接触によってロープが切断するおそれがある箇所は切断防止措置を行い使用する。

【記述式問題】

あなたが申請時において「実務経験証明書」に記載したのり面工事について、発注者（事業主体）、施工場所（都道府県名）、工事名、工期、およびその工事に含まれていたのり面工の工種を指定の枠内に記述しなさい。

次に、①現場遂行上の課題を挙げ、それに対して②実施した対応（創意工夫を含む）とその対応を採用した理由、および③その結果や評価、後の現場管理に反映した点について、具体的に 400 字以内で述べなさい。

現場の状況を分かりやすく説明するため、簡単な絵を解答欄内に小さく記入してもかまいません。※ただし、枠内に記入すること

メモ用紙